

今すぐ役に立つ 「手描きパース」勉強会 ◆ 第2弾 ◆

■お盆も過ぎた 8 月 22 日（水）、18 時から 21 時までサイドビルにて手描きパース勉強会（第 2 弾）を行いました。参加者は計 9 名（会員外の方 4 名）。参加予定で参加できなかった方もいらっしゃいました。前回参加できなかったという方も参加してくれて、会場の机の上は、いっぱい紙やトレペ、定規や色鉛筆やお菓子で埋まっていました。講師は、前回と同じく、泉香織さん（いずみ工房代表）です。



◆◆◆◆◆ 講座内容 ◆◆◆◆◆

■自己紹介（泉さん）

■ここがポイント

- ・消失点と目の高さについて

■写真を使って

- ・一点透視 屋内パースを描いてみよう
- ・二点透視 屋内パースを描いてみよう
- ・家具を描いてみよう

■作品の紹介、質問コーナー



■前回6月で、第2弾もすぐに決定しましたので、7月と8月に1回、事前にどういうことをするか、打ち合わせして、今回の勉強会開催となりました。前より手を動かして小物や植栽まで描こう！と話していたのですが、手を動かすことは出来ましたが、詳細を描くまで時間がなかったです。

■プロの撮影した写真には消失点があることや、2分割・3分割の方法は図学の世界であること、屋内パースの描き方（一・二点透視）、アイライン、CGでなく手描きの意味など、いろいろ勉強になりました。

「その線の名前は何ですか？」との質問に、自分で描くのと教えるのと違うので…と、泉さんが戸惑う場面もありました。泉さんが「またぜひ皆さんの絵が見てみたい」ともおっしゃっていました。

前回に引き続き、甫立さんからの差し入れのたくさんの和菓子をいただきながら休憩をとりました。

若い方からベテランの方まで参加いただき、初歩から実務での悩みまで、質問もたくさん出ていました。補助線だらけになる絵にトレペを重ねて清書し、完成パースまでの道のりは遠く感じますが、楽しいものです。次はパースへの色付け、外観パースの描き方ですね。



質問する方、
解説を聴く方、
モクモクと描く方、
ジーっと考える方、
隣の人に教える方、
i-pad に描く方…。

(報告：黒野)

今すぐ役に立つ「手描きパース勉強会」第2弾 感想・アンケート

- パースの書く手順を説明していただき、前より理解が深まりました。家具をえがくのは難しいと思いました。(服部)
- 2点透視を学べて良かったです。難しいなと思っていましたが、実務でも消失点を意識して考えていけるようにしていこうと思いました。(大谷)
- 絵の上手な人は建築も上手だと思っています。もっと上手になりたいと今回はじめて参加させていただきました。1回目も参加できるとよかったと思います。残念です。3回目も準備してください。(東海林)
- 大変勉強になりました。ぜひ第3回をおねがいします。繰り返し今回の内容を、がんばって描いてみようと思いました。ありがとうございます。(米本)
- すごく楽しかったです。すぐに忘れてしまいそうなのでたくさん手を動かさなきゃと思いました。いい時間ありがとうございました。(名畑)
- とても分かり易かったです。パースを描くのは時間がかかるのでなかなか重い腰があがりません。
(堀尾)
- 今回も前回に続いて、自分が実際に書くことが出来るようになったので、まず仕事の場で積極的に書いてみようと思いました。また外観パースや外構のリフォームなどでのお客様への提案については、泉さんへ依頼をして、協力してもらえようにしたいと感じました。ほかの参加者からの、手描きでの平面図や色鉛筆での着色など手描きでのパースのような差別化の話も、大変参考になりました。ありがとうございます。
(甫立)

■ 取り組んでほしい企画など

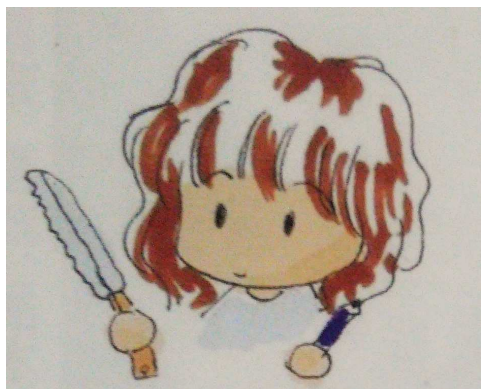
【見学会】 チリウヒーター川合氏の自宅見学について。モザイクタイルミュージアム。

【講座】 住宅連続講座。今回のつづき。外観パース。

【その他】 環境アレルギーアドバイザーについて。

【興味のあるテーマ】

- ・ 建築から遠ざかってしまっているので、話題の作品や建築家さんを知りたい。
- ・ 自然について。
- ・ 手描きパースへの着色・さらさらスケッチ。
- ・ 手描き図面、スケッチ。
- ・ 工事請負契約書や住宅の基礎詳細図なども含めて、2020年問題について勉強してみたい。



「泉さん、第2弾、ありがとうございました。」